

2021年度 犬山・明治村

明治大学ガバナンス研究科1期生

高橋 幸子

からくり人形



犬山からくりミュージアム



犬山観光情報 2021.4.14閲覧

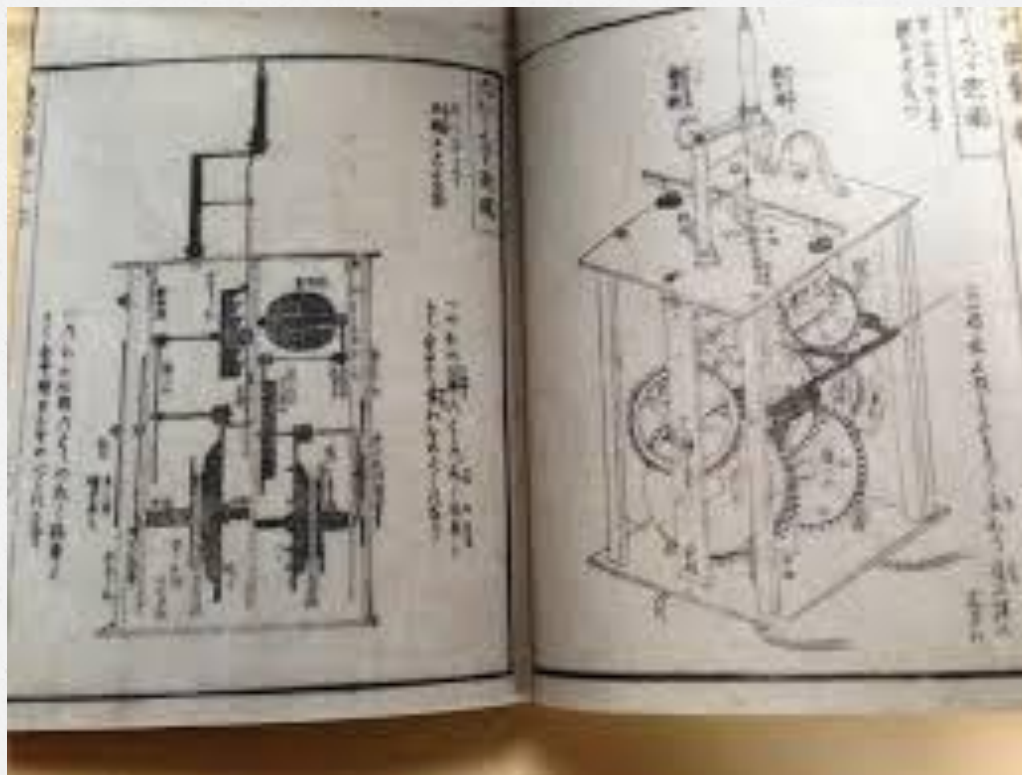
<https://inuyama.gr.jp/karakuri.html>

からくり人形の歴史

- 平安時代:「今昔物語」に記述を認める。
江戸時代のイメージがあるが、
歴史は古い。

操り人形師(木偶師)によって、作られていた。
16世紀になり、西洋の時計技術から和時計の
技術が組み込まれた。その後「からくり人形」へ
と昇華していった。

機巧図彙(からくりずい)



機巧図彙(からくりずい)

- 設計図
- 多くの図を使用し、政策の手順が載っていた。ここまで、西寧に解説されたものは当時の世界でも類を見なかった。
- 日本の機械工学の先進性を示していた。

機巧図彙の序文

- 「夫奇器を製するの要は 多く見て 心に記憶し 物に触て機転を用ゆるを学ぶ。(中略)此書の如き 実に見戯に等しけれども 見る人の斟酌に依ては 起見生心の一助とも成なんかし。(機械を作り出すために大事な点は、多くの物を見て心にとどめ、また実際に物に触って確かめ、ヒントを得ることだ。この本にのっていることは、子供の遊びにすぎないかもしれないが、見る人の心構えによっては、そこから何かを得、発明のきっかけにもなるはずだ。)」

からくり人形

- 時代を超えて、「モノ作り」に関する技術者としての精神を伝えている。

犬山のからくり人形の歴史

- 犬山祭
- 犬山城のふもとにある針綱神社に祀れている神様を祀るお祭りで1635年に始まった。1641年には、からくり人形を備えた、山車が出されていた。

「からくり」

○ 広辞苑によれば、

からくり[絡操、機関](カラクルの連用形から)

①糸のしかけであやつって動かす装置。転じて、一般にしかけ②しくんだこと③絡操人形におなじ＝ぜんまい仕掛けで、ねじを回せば動くように造った人形

からくりの種類

- 山車からくり
神社の祭礼をいろどる山車にからくり人形を乗せた。
- 座敷からくり
高級な玩具として発達した。娯楽の1つ
「茶運人形」「弓曳童子」「文字書き人形」
- 芝居からくり
からくりの面白さを多くの人たちに楽しんでもらうため、芝居仕立て部分的にからくりを取入れた興業と言える。

ロボットの原点は からくり人形



参考文献

- 玉屋庄兵衛(2013)「からくりって何?～名古屋のからくり 現代ロボットへの伝承～」電気設備学会誌
Vol.33No.1 P.52~63
- 村上和夫(2014)「完訳 からくり図彙」並木書房
- 九代目玉屋庄兵衛後援会
<http://karakuri-tamaya.jp/index.html>
2021.4.28閲覧
- 株式会社 未来機構
<http://miraikiko.co.jp/fukusei/karakurizui.html>
2021.4.28閲覧

ありがとうございました。